

多様性を保障するインクルーシブ保育を考える(1)
—スウェーデンの取り組みを通して—

「多様性を保障するインクルーシブ保育を考える」は3回に渡るリレーシンポジウムです。第1回は、先駆的な実践を展開する欧州地域からスウェーデン、第2回は東アジアにおけるフロントランナーとして韓国の実践、第3回は日本における異年齢保育の実践を報告し、「多様性を保障する保育の理論と実践」のプラットフォームづくりを共に考え発信します。

本シンポジウムでは、保育・幼児教育における「多様性の保障」に取り組んできたスウェーデンの実践・成果・課題を紹介し、文化的、社会的な背景および障害など子どもの成長発達に関わる多様な側面を包含するインクルーシブな保育・幼児教育のあり方を検討します。さらには、スウェーデンの事例を検討することを通して、日本の保育・幼児教育において多様性を保障する保育の展開を加速させる手がかりを共有します。これまで個別に語られてきた多文化保育、障害児保育、外国語教育、母語教育や特別な配慮を必要とする子育て支援などを架橋し、一人ひとりの子どもの人権を守り、すべての子どもたちの多様性の保障を希求する保育の重要性を共に考えます。

2022年 **11月3日(木)** 14:00～16:00 (13:00開場)

場所：日本福祉大学美浜キャンパス 文化ホール

プログラム

総合司会：松山有美（日本福祉大学）

指定討論者：Michelle H Morrone(ミシェル・H・モローネ)

(名古屋学芸大学・Dovetail for Everyone 共同代表)

話題提供者	所属	発表題目
Gunilla Essen M.A (グニラ エッセン)	シグトゥーナ市ペタゴジスタ/コーディネーター	欧州におけるレッジョ・エミリアの理論と実践
Inger Bjorkland Ph.D. (インガー・ビョークランド)	スウェーデン学校庁プロセスリーダー/Ringmuren プリスクール園長	スウェーデンにおける移民の子どもに対する保育・幼児教育に関する研究と実践：Ringmuren Conceptに注目して
Erik Andersson M.A (エリック アンダーセン) ※オンライン参加	Ringmuren プリスクールカリキュラム管理者	多様性の保障を支える保育カリキュラムに関する実践：保育者、研究者および地域住民との協働に注目して

本研究は科研費(20K02619)の助成を受けたものである。使用言語：日本語・英語(逐次通訳あり)。

参加申込

URLもしくはQRコードより申込みフォームにアクセスの上、必要事項をご記入ください。

申込みフォーム

<https://forms.gle/9Jn1puB2JUzkMh9K6>

申込み締切

2022年10月31日(月) 9:00まで

※ 資料の準備がありますので、必ず事前にお申し込みをお願いします。



お問い合わせ